

平成 28 年 8 月 1 日発行（隔月発行）Vol. 731 号

“経営に知恵と革新”

6・7・8

月号

# マネジメント コンサルタント

Management Consultant

2016

- 第 62 回定時社員総会報告
- 新役員所信表明
- 第 50 回全国研高松大会開催案内



新役員・新支部長

認定経営革新等支援機関

一般社団法人日本経営士会

暑中お見舞い申し上げます

会員皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたします。

平成28年盛夏

一般社団法人 日本経営士会

会長 青木 幸江

(株式会社青木経営労務所 代表取締役)

副会長 近藤 安弘

(近藤経営コンサルタント事務所 代表)

専務理事 香山 務

(有限会社バス経営センター 代表取締役)

## 目次

第62回定時社員総会報告	2
役員就任のあいさつ	4
事業計画骨子	8
組織図	9
第50回経営士全国研究会議のご案内	10
経営支援アドバイザー養成講座募集案内	16
NJKだより	17
第42期経営士養成講座修了の報告	18
第5回「プロ・コンサルタント育成講座」開催	19
環境社会創出委員会近況報告	20
平成27年度MPP取得単位一覧表	21
MPP高単位取得者一覧表	22
支部活動報告	
北海道支部 活動の計画と報告書	24
東北支部 活動報告	25
北関東支部 茨城県会公開MPP開催	28
埼玉支部 「経営改善塾」開催について	29
四国支部 支部総会開催	30
台湾支部 活動報告	31
研究会案内、計報、提言募集	32
MPP普及活動リーダー研修のご案内、 暑中見舞名刺広告	33

マネジメントコンサルタント (Management Consultant)

発行所：一般社団法人 日本経営士会

<http://www.keieishikai.com>

〒102-0084

東京都千代田区二番町 12-12B, D, A, 二番町ビル5階

電話：03-3239-0691 ファックス：03-3239-1831

## 第 62 回定時社員総会報告

本会、第 62 回定時社員総会は 6 月 17 日（金）、東京都千代田麹町の弘済会館にて開催されました。

開催に先立ち、この一年に故人になられた 9 名の会員への黙祷が捧げられ、鶴岡会長の挨拶、総会成立の報告後、所定の議案の議案について下記のとおり、決議及び報告されましたのでお知らせいたします。

開催日時 : 平成 28 年 6 月 17 日（金） 14:30~16:20

開催場所 : 弘済会館 4F きく梅（西）  
東京都千代田区麹町 5-1 電話 03-5276-0333

出席理事 : 鶴岡義明会長、佐藤富夫副会長、小林祥三常任理事、櫻井ミス常任理事、  
加藤健二理事（欠席：山口稔理事、鑄方貞元理事）

出席監事 : 竹内一登監事（欠席：松永準一監事）

社員総数 : 社員総数 848 名（過半数：425 名）  
出席社員数 443 名

（内訳） 本人出席 84 名、委任状出席 359 名

議長及び議事録署名人の選任について  
鶴岡会長の挨拶のあと、鶴岡会長の指名で、  
小林常任理事より成立要件について定款第 19  
条第 1 項及び第 20 条第 1 項の規定により、  
総会成立に必要な構成員の過半数以上の出席  
を得て、第 62 回定時社員総会は有効に成立し  
た旨が告げられた。

定款第 17 条に基づき、鶴岡義明会長が議長と  
なり開会、鶴岡議長から副議長指名をしたいとの要望あり、副議長を議場に諮り佐藤富夫副会  
長が就任した。

また、定款第 21 条第 2 項の規定により議事録署名人を指名したい旨を述べたところ、異議なく  
賛成があり、議事録署名人として平山道雄社員と林久雄社員が指名された。



（定刻通り総会は始まった）

## 議案決議の結果（第一号～第四号 議案提案）

第一号議案 平成27年度事業報告に関する件

第二号議案 平成27年度決算承認の件

平成27年度監査報告鶴岡議長の指名で、事務局員から第一号議案の報告事項及び第二号議案の決議事項が議案書に基づき説明され、竹内監事より監査報告が行われた。

審議の結果、第二号議案の承認を求めたところ原案どおり賛成多数で承認・可決された。

第三号議案 定款一部改定について

鶴岡議長の指名により事務局員から第三号議案について議案書に基づき説明され、議長が社員から指摘を受け、議案の不備が判明したため廃案とした。

第四号議案の審議に先立ち、社員提案の取り扱いについて、「一般社団法人及び一般財団法に関する法律」に照らし理事会で内容等を検討した結果、本総会の議案として取り扱わないことに決定した旨が報告された。

第四号議案 役員選任の件

鶴岡議長より、役員選任の議案内容を説明した。

決議にあたり、下記の各候補者を紹介し、候補者ごとに採決をとった結果、候補者全員が賛成多数で承認された。

(理事候補9名) 香山務氏、上野延城氏、森田喜芳氏、青木幸江氏、近藤安弘氏、石川英一氏、佐藤光子氏、西村豊氏、加藤健二氏

(監事候補2名) 石倉憲治氏、石黒不二夫氏

休憩後、議事が再開された。

第五号議案 平成28年度事業計画に関する件

第六号議案 平成28年度収支予算に関する件

鶴岡議長の指名により、両議案とも事務局が議案書に基づき報告した。社員からの指摘もあり、新役員による事業計画、予算を早急に作成することとなった。

以上を以って議事が終了したので、議長は閉会を宣言した。

総会終了後、「椿の間」で、約50名の参加者を得て懇親会が開催され、「永久フェロー」の授与式、青木新会長の挨拶、本会顧問 一般財団法人産業調査会前理事長 野々内隆氏に乾杯の挨拶をいただき、和やかな雰囲気で歓談が時間一杯続けられた。

# 役員就任のあいさつ

## ★会長就任にあたって★

会長 青木幸江



このたび会長職を拝命いたしました青木幸江でございます。

私は、東京生まれ東京育ちで、現在、銀座で社会保険労務士をしております。私の名前でホームページを検索していただきますと、現在の仕事内容は確認いただけます。

社会保険労務士を開業してから早いもので、24年経ちます。経営士になりました経緯は、今から約15年前に主人から「日本経営士会」というコンサルの組織があるから勉強してみたら、社労士の仕事に役に立つよ」と、勧められ、ちょうど開業して10年ほど経ち、勉強できる環境になったので勉強に参加いたしました。その当時の養成講座は、約1年間アジア会館で土日はほぼ泊まり込みで、20人の全国から集まった同期と議論を戦わせながら、土曜日に徹夜しながら日曜日にはプレゼン資料を完成させ、充実した勉強会をしたものでした。そのお蔭で、同期とは未だに仕事のコラボをすることが出来ています。随分稼がせていただきましたし、人脈も広がりました。

その当時は、個性の強い先生に勉強しながら随分泣かされた思い出もありますが、今にしてみると懐かしい思い出となっています。

そこで、私が何故この度会長に就任することになったのかになるのですが、私が属する東京支部問題に端を発しています。皆様ご存じのとおり、東京支部は長い間、「派閥問題」でガタガタしており、終には「本部と支部の対立」までに至り、会の秩序が乱れ会員の減少には目を覆わんばかりの状態となりましたのは周知の事実というところで、「プロのコンサルタントの組織なのに、これで良いのか！」と、一念発起致しました。

今後の2年間の私の所信として、これから本当に実現可能なものと、6月17日の総会で会長に就任してから現在まで実施してきたことをこれから述べさせていただきます。

### ①組織の再編成をいたします

支部活動があつての、本部なので、活動していない委員会等は無くしました。

支部の位置を明確にいたしました。別紙組織図を参照してください。

### ②経費の見直し、財政の健全化、透明化

6月18日から連日本部にて、契約書、元帳などを調べ、無駄な経費をカットし、支部支援費を増やしました。月次決算まで持っていくつもりです。

### ③ホームページの見直し

委託料金も含め、既存の会員向けなのか、新規獲得のためなのか、ホームページそのものの方向性を決め、委託先と交渉を実施中。

#### ④事務所移転に関して

不動産コンサルタントと、移転可能な時期、金額等、もちろんの条件も含め交渉中。

#### ⑤もちろんの規程の見直しの実施

既に、現状にそぐわない規程、場当たり的に作ってきた規定もあり、また、事務所職員の規程など、現状に合わせたものに見直しをいたします。

#### ⑥効率的な理事会運営

全国からの理事の集まりなので、議事録を事前に配布し、参加できない理事には事前に決議事項については確認をしていただくようにする。また、将来的には理事会の傍聴を考えています。

#### ⑦年2回の全国支部長会の実施

#### ⑧全国の支部を回り支部活動を支援いたします

基本的な考えは「会員のための会にする」為に会長として頑張っていくということです。そして、会員相互の融和を図り、お互いに尊重しあい、会員を増やし、プロのコンサルタントとして、社会にお役にたてる会にしていきたいと思っています。

### ★所信表明★

副会長 近藤安弘



このたび、副会長に就任いたしました近藤安弘です。

日本経営士会は今、会員の高齢化や減少、事業環境の変化への対応等、大きな過渡期であり現状の課題解決と今後に向けた方向性を明確にすべき時期でもあります。

とりわけ、原点回帰の精神にもどり、本来あるべき姿を求める必要があります。

それは、社会貢献をしつつ、お客様に喜ばれ、同時に経営士のレベル向上に繋がる活動を開することです。そのためには

#### ①コミュニケーション強化の仕組みづくり

- (1) 本部～支部～各センターの運営について正確な情報の把握と開示
- (2) 抱えている問題点の抽出と改善案についての意見交換
- (3) 自ら改善へ参画できる雰囲気・仕組みづくり

#### ②経営士の活躍の場づくり

公共事業の受託推進により経営士が活躍できるチャンスを広げる

- (1) 主要省庁の入札権を獲得する（全省庁共通入札権取得済）

- (2) 各都道府県の入札権を取得する（現在推進中）
- (3) 本部・各支部で埋もれているビジネスツールを活かす

### ③事業展開と人材（財）育成推進

入札権獲得をベースに事業の推進を図る

- (1) 公共事業を中心とした事業を推進する・その他 各事業の推進
- (2) そのための戦える人材（財）育成とデータベースづくり
- (3) MPP・ビジネスツールを活かした一般企業・団体への普及活動を強化推進するモデル支部・モデルセンターを創り横展開を図る

### ④財務管理の強化

赤字事業の排除と財務管理レベルの向上を図る

- (1) 赤字になっている事業を撤廃し収益性事業に切り替える
- (2) ムダな経費の徹底削減
- (3) 期間単位から月次管理・日計表管理への細分化を行い財務管理レベルを向上させる等の活動を実施してゆきます。

今後、日本経営士会では総力を挙げて力を結集し取り組んで参りたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願いします。

---

## ★財務健全化の対応を最優先へ★ 専務理事 香山 務



私は現在73才で未年を6回数えています。

今回の業務執行理事の選挙の抱負に社会貢献をベースに①支部中心の業務活動 ②本部組織の改編 ③会の財務の健全化を掲げました。3項目共それぞれの重要な項目ですが、私は特に③の財務の健全化に取組みたいと考えています。

以下、その原因について述べてみます。一般社団法人の認可を受けた時平成25年4月の正味財産額（一般企業の資本金）は、27,191千円でした。それが28年3月には、15,242千円と3年間で11,949千円44%減少しました。

その中でも公益事業の純支出額は、3年間で17,078千円と正味財産額の減少を大幅に上回っています。

私は、ここで会員の皆様に再認識して戴きたい事があります。それは一般社団法人の認可を内閣府から受けた時に「公益支出計画」という計画が提出されております。これは、認可を受ける際の正味財産27,191千円を8年間で支出するという計画です。すでに3年間で17,078千円支出しており計画を12,000千円も上回る支出をしています。残りは5年で10,000千円（年平均2,000千円）です。

ここで重要なのは、一般社団の認可を受ける時にその際の正味財産が「公益支出」にまわされるという事を、私をはじめどの位の会員が理解していたかという事です。昨年10月以降の本部の資金繩りをめぐる大混乱は、「公益支出」についての執行部の説明不足及び会員の理解不足にその一因があります。

日頃からの本部と支部の交流の少なさがこういう形で露呈してきたものです。

今期以降、正味財産の減少をくい止めて、再生する経営士会を目指す為には、経費の大幅な見直し、事業部門の赤字の根絶等が考えられます。本部の予実管理導入も検討中です。私は、会長、副会長が前面に出て、頑張って戴き、後顧の憂いなく活動できる様、全力でバックアップしたいと思います。

これからも会員皆様の御理解、御協力をお願い致します。

-----

#### 平成28年度・29年度役員

会長（代表理事）	青木 幸江（東京支部・新任）
副会長（代表理事）	近藤 安弘（南関東支部・新任）
専務理事	香山 務（北関東支部・新任）
常任理事	石川 英一（東北支部・新任）
常任理事	上野 延城（埼玉支部・新任）
常任理事	森田 喜芳（東京支部・新任）
理事	佐藤 光子（東北支部・新任）
理事	西村 豊（千葉支部・新任）
理事	加藤 健二（中部支部・再任）
監事	石倉 憲治（東京支部・新任）
監事	石黒不二夫（南関東支部・新任）

#### 平成28年度・29年度支部長

北海道支部	溝渕 新蔵	中部支部	加藤 健二
東北支部	佐藤 光子	近畿支部	酒井 三雄
北関東支部	平岡 武	中国支部	藤本 賢司
千葉支部	西村 豊	四国支部	塚元 啓幸
埼玉支部	小西 洋三	九州支部	西尾 廣幸
東京支部	鈴木 和男	台湾特別支部	林 漢卿
南関東支部	花上 一雄		

# 日本経営士会2016年度 事業計画骨子

2016年7月15日  
日本経営士会  
文責：幹部会

## （改革の視点）

- 1原点回帰の精神にともどり、本来あるべき姿を求める。  
定款第3条が原点（以下要約）
  - 「経営支援並びに地域社会への支援・会員相互の交流と連携により高い能力を培い人材育成支援を通じて国内外の経済・社会の発展に寄与」
  - 2経営士本来の「強み」を活かしたべクトル合わせが必要
- (1) コミュニケーション強化への布石
- (2) 本物のコンサルタントを生み出す仕組み



## （日本経営士会の見直しの要点）

- ・コミュニケーション不足  
公益事業とは何なのか説明不足～理解不足から経費のムダとが混在～誤解を招く状況
- ・財務管理不足～赤字事業やムダな経費の流出  
・経営士の活躍の舞台が乏しい  
・会の魅力の低下から会員が減少傾向  
・本来の強みが活かしきれていない

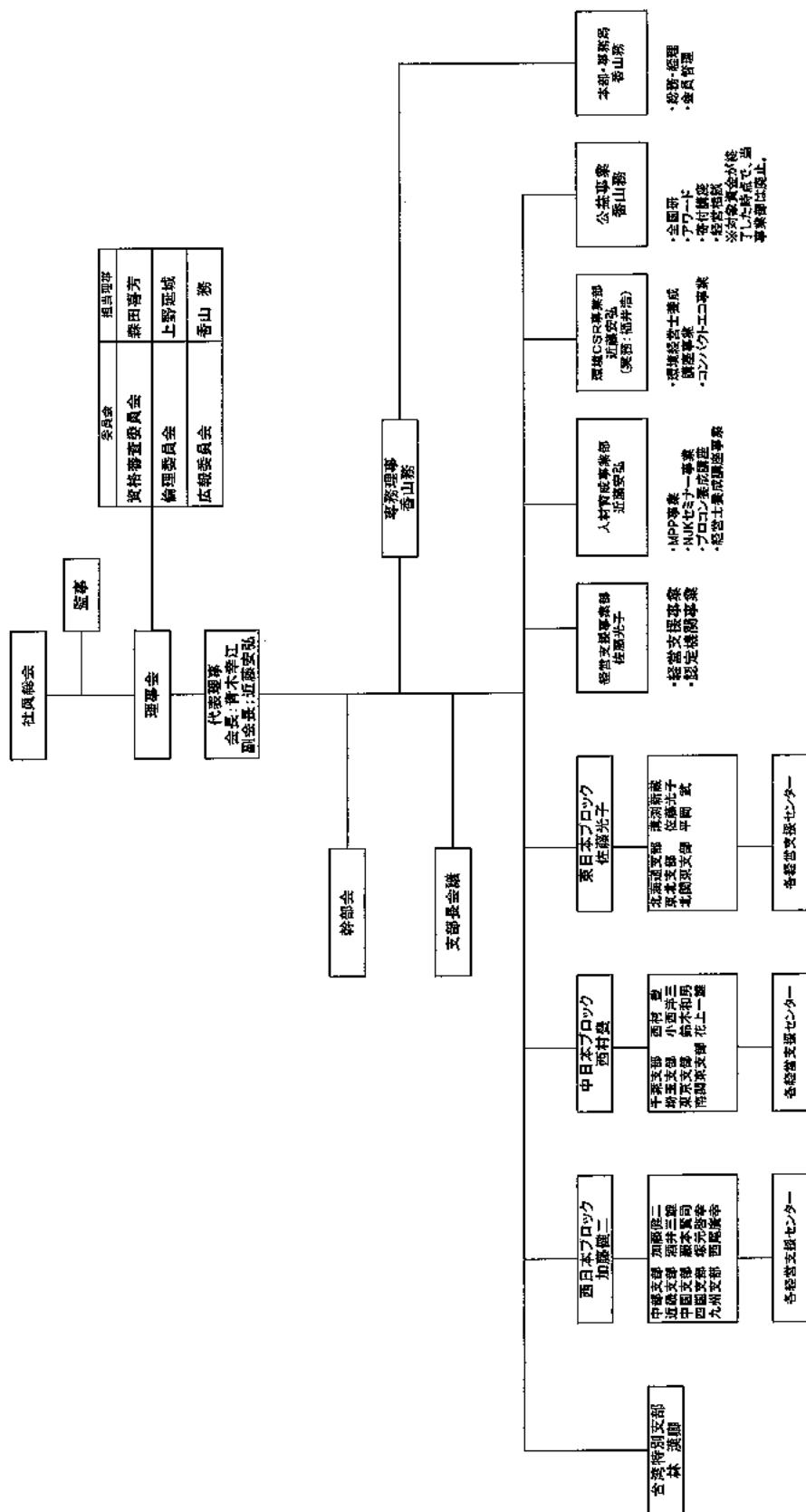
## 【日本経営士会の具体的な取り組み】

1. シンプルな組織に編成（別紙）
2. 財務管理強化策
  - ・赤字事業を撤廃し収益性事業に切り替える
  - ・ムダな経費の徹底排除（別紙）・契約のあるものは継続検討
  - ・期間単位から月次管理・日計管理への細分化～管理レベル向上
  - ・支部への配賦額改善
3. 経営士の活躍の場づくり
  - ・各都道府県の入札権の取得推進～公共事業受託推進
  - ・食の6次化プロデューサー拡大推進
4. 収益向上に繋がる取り組み
  - ・広告宣伝費収入アップ策
  - ・会員増強策→各支部5名以上の推薦入会増強
  - ・公共事業の実践
5. 人材（財）育成とコミュニケーション強化
  - ・戦える人材（財）育成強化
  - ・人材（財）データベースづくり
  - ・本部～支部～センターの連携強化

## 【日本経営士会の本来の強み】とは

- ・経営革新認定機関であり全国組織である
- ・能力の高い経営士が点在する
- ・MPPを保有している
- ・都道府県の人材育成に貢献しているところもある
- ・産業活性化に寄与しているところもある

一般社団法人 日本経営士会 平成28年度 組織図  
平成28年7月1日現在



# 第50回一般社団法人日本経営士会全国研究会議 ～おいでまい高松～ご案内

四国支部実行委員会

- 包括テーマ「地方経済圏から考える地方再生」  
サブテーマ「～創意・情報・環境～地方創生に向けた支援業務でお仕事チャンスを！」
- 日時：平成28年10月16日（日）～10月17日（月）
- 会場：JRクレメントホテル高松
- 香川県高松市浜ノ町1-1 TEL：087-811-1111  
JR高松駅改札を出て正面すぐ・高松空港よりシャトルバスで正面玄関到着  
URL：<http://www.jrclement.co.jp/>
- 参加費：会員 20,000円 会員同伴者 14,000円 一般参加者 10,000円

【プログラムの概要】（都合により変更する場合がございます）

10月16日（日）	12:30～	受付開始
	13:30～	開会
	13:31～	開会宣言 塚元支部長
	13:35～	会長挨拶 青木会長
	13:40～	来賓紹介
	14:00～	講演 四国財務局
	14:30～	ビジネス・イノベーション・アワード表彰式
	15:00～	休憩
	15:15～	基調講演 三橋貴明氏
	16:50～	MPP委員会より 近藤副会長
	17:00～	休憩（ホテルチェックイン等）
	18:00～	会員表彰（懇親会場にて）
	18:30～	懇親会
	20:30～	終宴
10月17日（月）	9:00～	経営士による研究論文発表
	9:00～	学生研究発表と経営士によるセッション討論会
	11:45～	優秀論文表彰等
	12:00～	閉会 近藤副会長
	13:00～	エキスカーション出発

全国研の高松での開催は、平成10年以来18年ぶりの開催となりました。18年前といえば高松港再開発の途中だったので、高松駅も仮駅舎だったため参加の方にはご不便をおかけしました。しかしその後、ずいぶんと風景が変わり、首都圏の方に解り易くたとえるとミニ「みなとみらい」のようになっております。

マネジメント誌では高松の歴史や産業を紹介してきましたが、今回は本会議の具体的な内容などをこの会報の場をお借りして紹介していきたいと思います。

香川県は気候も温暖で天災などの大きな災害も少なく、人間ものんびりしている印象ですが、ところが意外と各方面のイノベーションの発信地にもなっています。「讃岐男に阿波女」という言葉があります。讃岐人は勤勉で貯蓄高も全国比で高いほうだといわれています。そのルーツは全国都道府県で一番狭い面積で、無いもの尽くしの中から生まれた工夫の力だともいえます。今回の全国研高松大会を通して会員各位が一堂に会して研鑽、懇親を深め、印象に残る大会にしたいと四国支部会員一同心をこめて準備をしております。一人でも多くの会員の皆様にお越しただけるようよろしくお願ひいたします。

● 基調講演 経済評論家 三橋貴明氏



演題：演題「真・地方創生 交通インフラの整備が地方経済を再生させる！」

テレビの討論番組などでおなじみの三橋貴明氏が日本経済を彼の持つ世界観で鋭く切り込みます。緊迫する世界の経済情勢なども詳しくお話ししていただけます。ご期待ください。

※ プロフィール

株式会社経世論研究所所長 東京都立大学（現：首都大学東京）経済学部卒業。外資系ＩＴ企業、NEC、日本IBMなどを経て2008年に中小企業診断士として独立、三橋貴明診断士事務所（現：経世論研究所）を設立した。

2007年、インターネット上の公表データから韓国経済を分析し、内容をまとめた『本当はヤバイ！韓国経済』（彩図社）がベストセラーとなる。その後も意欲的に新著を発表している。当人のブログ『新世紀のビッグブラザーへ』の一日のアクセスユーザーは12万人を越え、推定ユーザーは36万人に達している。2015年8月現在、参加ブログ総数115万の人気ブログランキングの「総合部門」1位、「政治部門」1位である。単行本執筆と同時に、雑誌の連載・寄稿・各

種メディアへの出演、全国各地での講演などに活躍している。

- イノベーションアワード表彰式

中小企業において、経営革新や社会貢献等で顕著な成績を上げた経営者や社会支援者、企業団体を表彰します。全国の会員の皆様の推薦をお待ちしております。アワードの優秀表彰者からさまざまな経営士としてのヒントを学び、今後のマネジメント活動に生かしてください。

- 分科会（優秀論文発表会）

例年通り、包括テーマに基づいた論文を会員様に募集して、中でも優秀な論文を3会場3コマ9名の方々に発表していただきます。当日は論文集に基づいてプレゼンテーションを行ないます。論文だけでは表しきれない部分も盛り込まれています。経営士としての実践での勉強になるはずです。

- 地元大学生参画地方再生プレゼンテーション

地元国立香川大学の学生が、地域活性化プロジェクトとして実際取り組んでいる事案を複数例取り上げてプレゼンテーションを行ないます。その後、質疑応答、パネルディスカッションを予定しております。大学生の切れ味鋭いプレゼンテーションは必見です。

- 懇親会

会員特別表彰を懇親会の最初に持ってきます。また、讃岐獅子を披露する予定です。また、料理には讃岐の名産品をふんだんに取り込んで皆様を歓迎いたします。都道府県や支部の垣根を越えて交流歓談ください。

- エキスカーション

例年ですと観光を主眼において構成されていましたが、今回は「劇的経営発想の転換企業訪問」という企業見学を兼ねた内容を準備しております。訪問企業は香川県の『勇心酒造株式会社』です。勇心酒造はもともと字のごとく酒造会社で創業160年の会社ですが、なんと酒類の売り上げが会社全体の1%しかないというユニークな経営を行っている企業です。残り99%の売り上げは何かというと酵母を使った保湿クリーム等化粧品が主力ということです。「ライスペワー」といえばご存知の方もいらっしゃると思います。そんな企業訪問を取り入れてみました。

コースは宿泊コースを含め3つ準備しました。いずれのコースも空港と駅に送迎します。

Aコース：うどん満腹コース／東京ソラマチにも出店しているうどん本陣山田家（2時間程度）有形文化財の店内でお召し上がりいただくうどんは格別です。  
交通費無料（うどん代その他お土産は実費でお願いします）

Bコース：勇心酒造（話題の化粧品ライスパワー・その他日本酒試飲）見学コース（3時間半程度） 3,500円

Cコース：土佐桂浜＆勇心酒造見学コース（1泊2日夕朝2食付き）

明治維新の立役者、坂本龍馬ゆかりの地、その他見どころ盛りだくさん  
19,800円

10月17日（月） 12:30出発	チャーターバスにてホテル出発→高松市郊外川田うどんにて昼食 →綾川町株式会社勇心酒造見学→善通寺ICより高松道・高知道 →高知桂浜（ホテル宿泊）
10月18日（火） 10:00出発	チャーターバスにてホテル出発→高知城下ひろめ市場で散策、買 い物、昼食→高知城→高知ICより高知道・高松道→高松空港 (16:15) 高松駅 (17:30)



南国土佐は皆さんご承知のように、明治維新の礎を作った坂本龍馬の出身地でもあり、我が国の歴史上有名な人物を数多く輩出した地であります。長曾我部元親、山内一豊、板垣退助、牧野富太郎、山下奉文など枚挙にいとまがありません。夜は桂浜にて宿泊、雄大な太平洋を眺

めながら土佐料理をご堪能ください。

2日目はひろめ市場で高知の食材やお土産など買い物、昼食などを楽しみいただいたのちに、日本の現存天守12城の一つで唯一本丸御殿の残る高知城の見学をします。

ご案内は地元高知県会の会員が土佐弁にてご接待する予定ですのでご期待ください。

#### ● 会場ホテル

JRクレメントホテル高松は天皇皇后両陛下行幸の際にもご宿泊される格式の高いホテルです。また、4月に行なわれたG7香川・高松情報通信大臣会合では各国の通信大臣も宿泊されました。

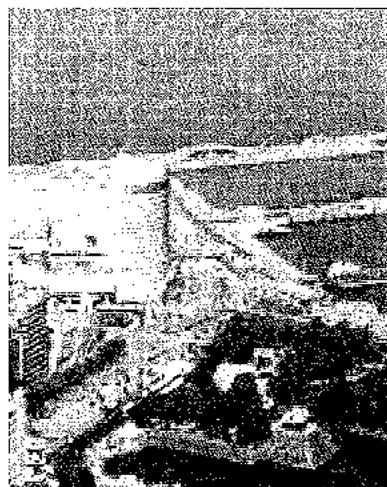
空路でお越しの方はホテル正面玄関までリムジンバスが運行しております。鉄道でお越しの方は、改札を出て正面左寄りがホテルとなっております。陸海空のアクセスも良く、非常にわかりやすいランドマークです。

宿泊：シングル10,550円

ツイン21,200円（2名様利用）

ツイン17,800円（1名様利用）

※朝食付（2日目の昼食の用意はありません）



#### お申し込み方法

「第50回経営士全国研究会議」のお申し込みは、同封のFAX申込書か申込はがき、あるいは本会HPをご利用ください。

高松空港 → 東京／羽田空港						東京／羽田空港 → 高松空港					
航空会社	便名	機種	出発	到着	備考	航空会社	便名	機種	出発	到着	備考
JAL	474	B737-800	07:20	08:35		ANA	531	B787-8	07:25	08:40	
ANA	532	B787-8	07:35	08:55		JAL	475	B737-800	07:50	09:05	
ANA	534	B787-8	09:25	10:45		ANA	533	B767-300	09:30	10:45	
JAL	476	B737-800	09:45	11:00		JAL	477	B737-800	09:45	11:00	
JAL	478	B737-800	11:45	13:00		ANA	535	A320	11:25	12:40	
ANA	536	A320	13:20	14:40		JAL	479	B737-800	12:00	13:15	
JAL	480	B737-800	14:00	15:15		ANA	997	A320	13:40	14:55	
ANA	998	A320	15:35	16:55		JAL	481	B737-800	13:55	15:10	
JAL	482	B737-800	15:55	17:10		JAL	483	B737-800	15:45	17:00	
ANA	538	B767-300	17:05	18:25		ANA	537	B737-800	17:30	18:45	
JAL	484	B737-800	17:45	19:00		JAL	485	B737-800	18:10	19:25	
ANA	540	B737-800	19:30	20:50		ANA	539	B787-8	19:50	21:10	
JAL	486	B737-800	20:05	21:20		JAL	487	B737-800	19:55	21:15	

高松空港 → 成田						成田 → 高松空港					
航空会社	便名	機種	出発	到着	備考	航空会社	便名	機種	出発	到着	備考
Jetstar	JJP410	A320	10:05	11:30		Jetstar	JJP411	A320	08:10	09:35	
Jetstar	JJP416	A320	18:15	19:40		Jetstar	JJP413	A320	16:15	17:45	

高松空港 → 台北（桃園）						台北（桃園）→ 高松空港					
航空会社	便名	機種	曜日	出発	到着	航空会社	便名	機種	曜日	出発	到着
ChinaAir	CI279	A320	月・金	10:05	11:30	ChinaAir	CI278	A320	月・金	08:10	09:35
ChinaAir	CI179	A320	水・木・土・日	18:15	19:40	ChinaAir	CI178	A320	水・木・土・日	16:15	17:45

★その他、高速バスで高松から大阪方面は1日48往復、関西空港は6往復、神戸方面は20往復、京都方面は14往復、広島方面は7往復、夜行バスは、東京、新宿、横浜、名古屋、福岡と結んでいます。ホテルは高速バスターミナルからも見えます。

認定支援機関だより

## 経営革新支援機関のための 「経営支援アドバイザー（改善）」養成講座 — 募集 —

いつも本会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

2014年の経営力強化支援法の施行に基づき、弊会、一般社団法人日本経営士会は、経営革新等支援機関の承認を受けた団体です。これまで社会的信頼度の向上と会員の活躍の場の拡大を求めて、経営支援アドバイザーを養成してきました。近年、多くの会員から次の養成講座の開催問合せを受け、本講座の再開をお知らせする運びとなりました。以下の通り、参加者を募集いたしますので、応募の程、宜しくお願ひ申し上げます。

- (1) 日 時：平成28年9月24日（土）～平成28年9月25日（日）  
1日目：10:00～18:00 2日目：9:00～16:30
- (2) 場 所：麹町『アピアン』四ツ谷駅前レストラン会議室  
住所：〒102-0083 東京都千代田区麹町6丁目6番地スクワール麹町2F  
電話：03-6272-5824 URL：<http://www.square.or.jp/restaurant/>
- (3) 主 催：一般社団法人日本経営士会本部
- (4) 対 象：20名（正会員）
- (5) 目 的：経営革新等支援機関で活躍する「経営支援アドバイザー（改善）」の養成
- (6) 受講料：30,000円/人
- (7) 申込締切：平成28年9月3日（土）
- (8) 連絡先：経営士会本部 田中洋子 E-mail：[tanaka@keieishikai.com](mailto:tanaka@keieishikai.com)  
山下恭司 E-mail：[yamashita@keieishikai.com](mailto:yamashita@keieishikai.com)
- プログラム内容：詳細は、HPか本部事務局に連絡下さい。

### 1. 養成講座受講後に習得できること及び特典

- (1) 養成講座修了者には経営士会から「経営支援アドバイザー」の称号を付与する。
- (2) 金融・財務・税務に関する支援ができる。
- (3) 認定支援機関の支援体制で活躍できる知見・知識が習得できる。
- (4) 外部案件に対して優先的受託ができる。

### 2. 経営支援アドバイザーの特徴

- (1) 経営革新等支援機関として、経営改善計画、経営革新計画、ものづくり補助金、創業補助金などの申請書の作成助言・指導ができる。
- (2) 海外展開に伴う進出計画が策定でき、そのフォローアップができる。

★講座では時間の都合上、経営改善計画を主に取り扱い、経営支援アドバイザーの特徴全てを網羅するものではありません。

### 3. 対象者：「経営支援アドバイザー」を目指す本会正会員

## NJK だより

イギリスに史上 2 人目の女性首相が誕生しました。時期同じく、日本経営士会にも初の女性会長が誕生しました。どうやら間違いなく女性活躍の時代が来ているようです。

### 7/12 日 女性活躍セミナー

毎年、7 月は外部向け講演会を開催している NJK ですが、今年は学校法人中部大学の東京事務所にて 3 部構成で女性活躍を主軸に開催いたしました。

#### <第 1 部>

##### 「女性脳の優位性に基づく起業創生」

中部大学経営情報学部教授

工学博士/経営士 児玉充晴 氏

#### <第 2 部>

##### 「成功と失敗を分けるもの」

㈱中央総合ビジネス・コンサルティング代表取

締役 中央総合税理士法人 代表社員

根岸良子 氏

#### <第 3 部>

##### 活躍する経営者聞く

インタビュア NJK 島影教子

広島の小原啓子経営士、東京の矢島澄子氏を初め全員と意見交換。

終了後は、日本橋の老舗蕎麦店で懇親会。



【青木幸江氏 会長挨拶】

## 児玉氏の講義から

・もともと女性と男性は脳の大きさ・形(脳梁)に違いがある。

・女性は脳全体を使って話すことで不安を解消しようとする。周りとの協調を大切にする。幾つものことを同時に考えることができ、細かいところまで気がつく。強い感情を言葉で表現する。24 時間脳が動いている。木を見て森を見ない。

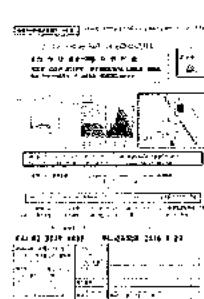
・男性は理論立てて必要事項を話そうとする。本能的に常に身構え一度にあれこれせずに 1 つずつ行なう。一度にあれこれできない。自分一人で問題解決しようとする。男性は脳を休ませる。ストレス発散は行動で行う。森をみて木を見ない。

## 根岸氏の講義から

女性起業家の歩みの根源には、学生時代からのお客様を満足させたいという強い思いがありました。生き方そのものと起業に至るまでの話を伺い、また現在取り組む新たな民泊事業、不動産事業への高く強い行動力ある話に盛んに質問が飛びました。

予告 8 月 28 日 (日) 13:30~

女性リーダーによる MPP in 横浜



今回の MPP は広く外部の方にもご参加いただけるよう MPP 解説と効用講義を用意しています。お取引先にもご紹介お誘いくださいませ。

連絡・問い合わせは NJK 島影まで

bzu03624@nifty.com 090-1812-9812

経営士総合研究所だより

## 第42期経営士養成講座、好評裡に修了

経営士総合研究所

若葉が目にまぶしい季節となり、さわやかな五月晴れの毎日のこの頃、本部主催の「第42期経営士養成講座」は、4月23日（土）のオリエンテーションに始まって5月28日（土）まで土、日の11日間の短期集中講座を行い全員無事に修了致しました。今回は本年度初めての本部主催の経営士養成講座であり経営士養成講座への受講生7名と会員による部分補習講座の受講生2名＆次回以降の参加希望性1名の合計10名の参加によりスタート致しました。今回も遠距離の宮城県よりのご参加も頂きました。今回の受講生の特徴は幅広い年代の受講による講座となり、受講生も最初から積極的に参加されて講師の経験談を交えながらの講義に大変興味持っていました。受講生のコミュニケーションも大変素晴らしいまとまっており、学習意欲も高いレベルでした。又、受講生の顔ぶれも多士済々のメンバーで、充実感ある講座を修了致しました。今回の特別講話は今回より“財務省”様にお願いして「(1) 最近の経済動向について (2) TPPについて！」の日本政府の政策などのお話しを直接お伺いする機会を得て、受講生にも大変興味を持ち、又講師ともども多くの質問をさせていただき好評裡に終わり、引き続き次回以降の特別講演も大いに期待できる内容でした。今回もリクエスト講座によるパネル・ディスカッションの科目もご好評いただき、海外関係の講座も従来より更に充実した講座と致しました。引き続き外部講師には中小企業論の専門家で大学院の講師をお招きしてご講話を頂きました。更に今回もグループ・スタディなどの時間割を多くして受講生による活発なグループ・ディスカッションや発表会なども交えてコミュニケーションスキルの向上も講座の狙いの一つとしました。今回の受講生も講座全体を通じて大変出席率も高く、意識の高さを感じさせていただき講師一同も 感心させられる養成講座でした。受講修了後は引き続き「プロコン育成講座」の受講を検討していただく修了生も多く、更に一段と高いプロのコンサルタント目指していくことになり、経営士会のコンサルタント講座を通じてプロのコンサルタントを目指している方々の多さに、今回も講師一同身を引き締めていく事を再確認した講座でした。

(報告者：森田喜芳)

### 第42期経営士養成講座

2016.4.23～5.28



経営士総合研究所だより

## 第5回「プロ・コンサルタント育成講座」スタートする

経営士総合研究所

紫陽花の鮮やかな本格的な夏の到来を感じさせる季節のこの頃、7月2日（土）よりオリエンテーションと初日の開講式を行い、7月30（土）まで12日間の短期集中講座により育成講座の開催をスタートしました。今回は42期経営士養成講座の修了生2名を含む合計4名の方々により講座のメイン会場である飯田橋の「リロの貸会議室」にて開始いたしました。

講師陣による受講生への歓迎のご挨拶と本講座の趣旨説明、受講生の皆様に期待と経営士会よりご挨拶の後、今後の講座の進め方についての説明、本講座の特徴、実習先での工場見学や質問の仕方、企業の経営状態の見方や経営分析方法などについて今後の講座スタートに際する概略説明を行い受講生と熱心なQ&Aを主体にした打ち合わせが行われました。

本講座は、従来までの座学による講座を改良して「実習先企業」を訪問して現場の視察や質問事項を実習先企業の経営者＆監督者と打ち合わせを行い、受講生中心によりコンサルタント業務を講師のアドバイスを得て学ぶ講座を計画し、第5回目のスタートとなりました。

その結果のまとめとして「報告書＆ご提案」を作成して実習先企業様の経営者にご提出する本格的なコンサルタント業務をOJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）による実践に重点を置いた養成講座となっており、他のコンサルタント育成講座に無い製造現場を視察しての実践を主体にした講座として注目を頂いている講座です。

尚、今回の養成講座の修了後も次回以降開催の養成講座の講師助手や講師代行業務などの実践の経験を踏んで、3～5年後には自らが本格的にコンサルタント業務を行えるようなプログラムを引き続き用意しており、今後本講座より多くの優秀なコンサルタントを輩出することを目指しています。今回の機会を第1ステップとして、受講生の皆様の今後のご活躍を期待しております。

(報告者=森田喜芳)



# 「環境社会」を日本全国に広めよう：近況報告

## 環境社会創出委員会

環境社会創出委員会が発足して今年で8年目になります。この間ビジネスエコリーダー養成、環境経営士養成、中小・小規模企業でも取り組みやすい環境マネジメントシステム・コンパクトエコシステムの普及活動を行ってきました。

### ●環境経営士養成について

環境経営士®に認定された方は7月現在で235名、これを各支部別に見ますと右図の傾向です。

今まで東京を中心に環境経営士養成講座を実施したためにこのような傾向となりました。

今年度からは各地域または支部で年に1回は開催できるように働きかけをしています。

当面の予定は九州支部9月、中国支部11月、中部支部は来年2月、東北支部は年内実施、他の支部は鋭意検討中です。

東京本部開催予定はベーシックコースを9月17日(土)アドバンストコース9月24日(土)、25日(日)下期も奇数月にて開催します。

### ●コンパクトエコシステム(CES)について

CESを構築した本意は中小・小規模企業でも取り組み易い環境マネジメントシステム(EMS)を全国に普及させようとの考えでした。CES導入後 エコステージ、エコアクション21、ISO14001に移行しても可とのことで構築しました。

最近はどのEMSも登録は減少しています。その代り環境を含めた「企業の社会的責任」(CSR)導入企業が増えています。当CESは従来からもCSRを包含していますが、CESガイドラインはさらに詳細にCSR取り組みについて項目を増やし改定をしていきます。

●東京本部でこの7月に開催した環境経営士養成講座には日本経営士会近藤安弘副会長が受講されました。今後は環境社会創出委員会を高所から支援して頂けることを期待しています。

●8月から環境委員会には若手を含めて委員が2-3人参加し若返りを計ります。



援助の改定です。ぜひCESの普及にご協力をお願ひいたします。このチラシを使って広報される方は本部までご連絡ください。

( 環境社会創出委員会 環境事業部長 福井 浩 )



●CESのチラシを改定しました。見やすくなしたことと今までの登録料、更新料、支援料の改定です。ぜひCESの普及にご協力をお願ひいたします。

接続がない経営力を創りだす  
環境マネジメントシステム(EJMS)  
**コンパクトエコシステム**



小規模事業者が導入しやすい  
負担の軽いEMS

新規・既存顧客・取引先の力用  
日本経営士会の環境経営士®が支援

PDCAサイクルに沿った改善に活用

・環境マネジメントシステムの構築

・環境経営士®による指導

・生産性向上、コスト削減等の実績監査・アセスメント

・顧客・銀行・取引先の評価が上がる

・SAS認定による国際化

## 平成27年度MPP取得単位一覧表(5単位以上)

(平成28年3月31日現在)

会員番号	氏名	支部	県会	取得単位数	会員番号	氏名	支部	県会	取得単位数
4544	近藤 安弘	南関東	山梨	46	4096	阿部 幸男	南関東	神奈川	9
4418	河上 晃	近畿	大阪	39	5200	多賀 吉令	中部	岐阜	9
4702	瀬尾 寿和	近畿	京都	35	4945	江尻 敏彰	中国	岡山	9
4997	松永 桂子	南関東	山梨	31	5217	加藤 安徳	中国	広島	9
5278	宇和野敦子	近畿	兵庫	31	2972	張 銘江	台湾特別	台湾	9
2680	日野 隆生	東京	東京	26	5116	莊 翔斌	台湾特別	台湾	9
4408	大野 喜章	東京	東京	25	4606	庄司 孝一	東北	山形	8
2958	上野 延城	埼玉	埼玉	23	4869	臼倉恵美子	埼玉	埼玉	8
2298	劉 成基	台湾特別	台湾	19	3034	炭谷 昂	南関東	静岡	8
5106	一瀬千恵美	南関東	山梨	17	5032	近藤 則康	中部	愛知	8
5119	三品 富義	中部	愛知	17	4250	近藤 肇	中部	岐阜	8
4886	鈴木 和男	東京	東京	16	3693	鳥越 國男	中国	広島	8
5167	木股 悟志	東京	東京	15	2421	大内 正雄	九州	福岡	8
5002	津田 嵩	南関東	神奈川	15	4760	島影 敦子	東京	東京	7
5117	陳 俊硯	台湾特別	台湾	15	2929	山本 英夫	南関東	静岡	7
4930	青樹 道弘	東京	東京	14	5257	成瀬 克彦	南関東	山梨	7
4994	一瀬 良之	南関東	山梨	14	5005	中津 啓	中部	愛知	7
5276	竹岡 栄徳	近畿	大阪	14	4348	藤本 賢司	中国	山口	7
3053	李 孟熹	台湾特別	台湾	14	5232	廣瀬 節生	九州	熊本	7
4516	陳 信安	台湾特別	台湾	14	5090	裴 伸也	東北	宮城	6
4804	陳 木梓	台湾特別	台湾	14	4458	小西 洋三	埼玉	埼玉	6
4827	林 漢鄉	台湾特別	台湾	14	3686	鈴木 勇	北関東	茨城	6
5221	蔡 有義	台湾特別	台湾	14	4908	橋本 琢磨	北関東	茨城	6
3840	榎原 貞夫	東京	東京	13	4962	松岡 繁	北関東	茨城	6
4892	東野 耕一郎	東京	東京	13	4996	小宮山千恵子	南関東	山梨	6
4334	謝 明堂	台湾特別	台湾	13	4705	岩井 美喜夫	四国	香川	6
4802	邱 黎燦	台湾特別	台湾	13	571	太田 能史	九州	福岡	6
4984	萩原 玄	埼玉	埼玉	12	1210	山内 輝光	九州	福岡	6
4595	黃 世欽	台湾特別	台湾	12	4262	劉 大椿	台湾特別	台湾	6
4905	陳 益世	台湾特別	台湾	12	4959	陳 俊栄	台湾特別	台湾	6
2358	佐藤 光子	東北	山形	11	2367	茂木 達男	東北	山形	5
3970	塚本 裕宥	北関東	茨城	11	3673	岡崎 充男	東北	山形	5
4864	荻本 博樹	東京	東京	11	4554	加藤 和弘	東北	山形	5
5162	渡邊 敏徳	南関東	山梨	11	2719	林 久雄	千葉	千葉	5
3254	伊藤 三男	中部	愛知	11	4910	米丸 米彦	埼玉	埼玉	5
5181	赤堀 敬二	近畿	兵庫	11	1112	森川 昇	北関東	栃木	5
3343	邱 炳輝	台湾特別	台湾	11	5153	藤原 義宏	南関東	神奈川	5
5290	王 添義	台湾特別	台湾	11	3350	川出 泰造	中国	広島	5
3966	庄司 芳昭	東北	宮城	10	4899	小原 啓子	中国	広島	5
4177	横井 三郎	東京	東京	10	3264	中嶋 尚士	中国	山口	5
3584	鈴木 健	南関東	神奈川	10	5263	矢野 謙二	九州	福岡	5

★平成27年4月1日～平成28年3月31日までに取得した単位一覧です

## MPP 高単位取得者一覧表(通算30単位以上)

(平成28年3月31日現在)

会員番号	氏名	支部	県会	取得単位数	会員番号	氏名	支部	県会	取得単位数
2298	劉 成基	台湾特別	台灣	514	2699	藤倉 恒男	北関東	栃木	59
1108	赤池 知保	東京	東京	377	2979	五十嵐昭平	東京	東京	59
2958	上野 延城	埼玉	埼玉	371	4945	江尻 敏彰	中国	岡山	59
3970	塚本 裕宥	北関東	茨城	330	3116	伊藤 彰彦	南関東	静岡	57
3053	李 孟熹	台湾特別	台灣	323	4705	岩井美喜夫	四国	香川	56
4096	阿部 幸男	南関東	神奈川	317	2311	高田 英二	四国	愛媛	55
493	間 敏幸	南関東	神奈川	294	2929	山本 英夫	南関東	静岡	54
900	水野 刀治	南関東	静岡	266	3753	大久保 一	中国	広島	54
3034	炭谷 昂	南関東	静岡	240	1559	岸田 晴樹	北海道	札幌	53
2972	張 銘江	台湾特別	台灣	236	4733	広瀬 典仁	南関東	山梨	53
209	平山 道雄	東京	東京	228	4390	篠原 和彦	近畿	大阪	53
2320	櫻井 ミス	東京	東京	228	462	天野 勇	東京	東京	52
4408	大野 喜章	東京	東京	202	5035	曾為國	台湾特別	台灣	52
3584	鈴木 健	南関東	神奈川	200	4869	臼倉恵美子	埼玉	埼玉	51
2680	日野 隆生	東京	東京	177	2256	小林 敏雄	埼玉	埼玉	50
571	太田 能史	九州	福岡	166	3254	伊藤 三男	中部	愛知	50
4418	河上 晃	近畿	大阪	160	4302	長谷川大二	南関東	神奈川	49
2022	磯部 正美	北関東	新潟	152	5106	一瀬千恵美	南関東	山梨	49
442	渡部 喜政	東北	秋田	144	4311	高村 一文	北海道	札幌	48
4544	近藤 安弘	南関東	山梨	143	3185	大垣 壽雄	北関東	栃木	47
4262	劉 大椿	台湾特別	台灣	143	4994	一瀬 良之	南関東	山梨	47
4334	謝 明堂	台湾特別	台灣	142	3872	加藤 健二	中部	愛知	47
3343	邱 炳輝	台湾特別	台灣	141	3829	岩井津子	四国	香川	46
648	後藤 彦一郎	九州	福岡	138	3966	庄司 芳昭	東北	宮城	45
4595	黃 世欽	台湾特別	台灣	128	3602	原田 秀雄	東北	山形	45
4827	林 漢卿	台湾特別	台灣	125	3626	越智 周三	四国	愛媛	45
2421	大内 正雄	九州	福岡	123	606	野崎 繁	北海道	札幌	43
149	作田 賢一	北関東	群馬	122	4997	松永 桂子	南関東	山梨	43
3686	鈴木 勇	北関東	茨城	122	1035	正林 滋二	埼玉	埼玉	41
2005	香山 務	北関東	栃木	118	4704	戸田 泰夫	中国	広島	40
2042	木村 泰博	北関東	新潟	118	3358	小笠原悦弘	四国	高知	40
4516	陳 信安	台湾特別	台灣	117	5117	陳俊硯	台湾特別	台灣	40
2603	山口 稔	東北	宮城	109	3751	鈴木 宏	東京	東京	39
4702	瀬尾 寿和	近畿	京都	104	896	鎌田 益幸	南関東	神奈川	39
1340	高橋 幸雄	南関東	神奈川	101	4881	金子 勝祐	南関東	神奈川	39
2358	佐藤 光子	東北	山形	96	5002	津田 嵩	南関東	神奈川	39
2721	上田 隆一	埼玉	埼玉	96	1255	森川 重義	中部	岐阜	39
1793	宍戸 孝郎	東北	宮城	95	4090	高畠 勉	中部	富山	39
4412	東原 實	四国	香川	95	1087	旗 正男	中部	石川	39
1150	出村 忠廣	南関東	神奈川	93	5116	莊 翔斌	台湾特別	台灣	39

会員番号	氏名	支部	県会	取得単位数	会員番号	氏名	支部	県会	取得単位数
4269	斎藤 誠一郎	東京	東京	92	4554	加藤 和弘	東北	山形	38
756	滝沢 壮治	東京	東京	91	507	八乙女賢三	東京	東京	38
4018	松尾 實	東京	東京	90	4992	石垣 悅子	南関東	山梨	38
2041	渡辺 良男	北関東	新潟	89	4513	石田 茂	中国	広島	38
425	大嶋 祥司	北関東	群馬	88	4638	黄 振城	台湾特別	台湾	38
4760	島影 教子	東京	東京	87	2496	深井 雄二	北関東	栃木	37
4930	青樹 道弘	東京	東京	87	4624	臼井 邦夫	北関東	栃木	37
4804	陳 木梓	台湾特別	台湾	87	4833	南 寛保	東京	東京	37
4802	邱 黎燦	台湾特別	台湾	86	2224	大橋 久	中部	岐阜	37
961	中山 恵詞	埼玉	埼玉	85	4606	庄司 孝一	東北	山形	36
1210	山内 輝光	九州	福岡	85	1045	五十嵐 満	北関東	群馬	35
2323	藤原 義博	九州	大分	83	3368	藤原 潤子	四国	高知	35
4905	陳 益世	台湾特別	台湾	83	3673	岡崎 充男	東北	山形	34
4984	萩原 玄	埼玉	埼玉	82	4081	鈴木 伸一	千葉	千葉	34
4054	神崎 進	九州	福岡	80	3273	川島 秀男	埼玉	埼玉	34
2719	林 久雄	千葉	千葉	79	4648	長谷川泰彦	北関東	群馬	34
911	鈴木 祥浩	近畿	大阪	78	5109	古屋 晶子	南関東	山梨	34
3693	鳥越 國男	中国	広島	78	4116	塚元 啓幸	四国	香川	34
4013	豊田 賢治	埼玉	埼玉	76	1046	飯塚 清	北関東	群馬	32
3249	松永 準一	中部	愛知	75	4613	竹内 一登	南関東	静岡	32
3562	蔡 全智	台湾特別	台湾	74	4132	佐藤 瓦	南関東	山梨	32
4024	藤島 公平	中国	山口	73	5278	宇和野敦子	近畿	兵庫	32
4703	佐藤 昌次郎	近畿	兵庫	72	3350	川出 泰造	中国	広島	32
1121	中野 澄雄	中国	広島	71	4657	西尾 廣幸	九州	長崎	32
2452	鶴岡 義明	千葉	千葉	69	1679	掛札 彰久	東北	秋田	31
4125	鏑方 貞元	近畿	兵庫	69	770	阿刀田 実	埼玉	埼玉	31
2367	茂木 達男	東北	山形	68	1802	寺坂 勝己	埼玉	埼玉	31
3176	棄山 一宏	北関東	新潟	68	4908	橋本 琢磨	北関東	茨城	31
834	高橋 栄一	南関東	神奈川	67	5119	三品 富義	中部	愛知	31
4250	近藤 肇	中部	岐阜	66	973	丸川 忠篤	近畿	大阪	31
4348	藤本 賢司	中国	山口	66	4335	謝 屏	台湾特別	台湾	31
2306	山本 正樹	中国	岡山	65	4609	中野 伸一	北関東	新潟	30
1344	竹沢 悅男	北関東	群馬	64	4177	横井 三郎	東京	東京	30
3894	田中 實	東京	東京	63	4588	山上 一樹	近畿	兵庫	30
1868	石黒 不二夫	南関東	神奈川	63	4617	加藤 洋吉	中国	広島	30
3355	植木 和宏	四国	高知	63	5014	案浦 浩二	九州	福岡	30
1112	森川 昇	北関東	栃木	60					

★通算で、30単位以上を保有している会員の一覧です

## 支部活動報告(1)

### 北海道支部活動の計画と報告書

北海道支部長 溝渕新蔵

ここ2年間は閉塞の時期であった。古くは80名に及ぶ会員が現在32名に縮小した。理由は明らかで「魅力がない、役に立たない」など。経営士会員としての価値観、社会貢献に対する意志の脆弱さに不満が昂じたのであろう。そこで、本年度は役員総意をまとめて、心機一転知恵を出し合い、改革し実践的に協働しよう、と船出したのである。

キーワードは

実践的協働、自己研鑽と奉仕、組織の活性化、財務の確立

#### 1. 具体的な事業プラン

- ① 本部ビジョンを理解し、強力な連携と各支部との交流を高める。  
○支部長は、役員の総意を体して統括し、独断と偏見の言動は厳に慎むこと  
○会員同士の技術、情報、コミュニケーションを地域としての存在を高めよう  
○自己研鑽、MPP のケースメソッド研究を深耕し、経営士の能力・特徴を出す  
○運営には、名簿、規則、財務の確立、収益を考える等、倫理観を以て活動しよう  
○知識、経験豊富で意欲ある有能な人材、特に若い人、女性を増強したい
- ② 支部独自のプラン・事業を計画し、相互の理解と協力により結束を強めよう。  
○役員は、担う役割のリーダーとして率先行動し、常に会員要望を把握しよう
- ③ 役員は、担う役割のリーダーとして率先行動し、常に会員要望を把握しよう。  
○会員の専門性を生かす広報(HP等)により外部に発信する。例えば、財務、新規事業、マーケティング、労務など高い能力をPRして、アドバイザー支援事業を構築する。経営革新認定機関として地域社会の経済発展に貢献に努めよう。
- ④ 関係機関（行政、大学、学会、他の支援団体等）との積極的な連携を図る。  
○大学（北海道・小樽等）経産局、銀行、商工会議所、商工会、道中小企業支援センター、中小企業家同友会、中小企業診断士会などと戦略的連携を図り、情報・診断技術の研修を図る。経営士の働き場を発見する機会を創ろう。
- ⑤ 外部から有力な知識人を迎えるとともに、会員の能力を高めて経営士会の地域における認知向上を図るように努力しよう。  
○案として4名 北海道シンクタンク社長、商工会議所中小企業相談所顧問会計士、中小企業論大学元教授、中小企業診断士協会元理事長

◆おわりに

かつて北海道支部は会員数や財務力では優れていると言われた。最近の停滞の雰囲気を一掃して活性化すべく全会員の協力を得て努力したい。相当多くのプランニングを述べたが、可能なかぎり実行したいと考えています。全国の皆様と協力し合って進みましょう。

## 支部活動報告(2)

### 東北支部活動報告

東北支部

ブラッシュアップ研修・定時報告会が行われました

#### ①【報 告】会員ブラッシュアップ研修

開催日：平成28年6月4日（土）10:00～11:50

開催場所：ホテル法華クラブ仙台 4F 葵の間 参加者：13名

##### 研修I

①「既存事業に3D技術を取り込んでの事業展開」 10:00～10:40

講師：株式会社 MORITA 代表取締役 森田 大様

②「中小企業関係機関の活用について」 10:40～10:50

講師：㈱クリエイティップマネジメント代表取締役 伊藤 仁会員

##### 研修II

「六次産業化の基礎知識と具体的な取り組み事例」 11:00～11:50

講師：㈱東北農都共生総合研究所 代表取締役 片岡 修一会員



(森田様 講義風景)



参加者の声

(講師 片岡会員)



(講師 伊藤会員)

#### 佐藤琢磨 会員

今回参加させて頂いた研修会は、大きく「起業」がキーワードであったように思われます。まず森田氏の講演は、「管楽器の修理と3Dプリンター」という誰が聞いてもミスマッチな部分を逆手にとり、新たな事業展開をされている実に興味深い内容でした。経営士会の研修ということで、どちらかといえば「発想」を事業として形にしていく過程のお話がメインでしたが、個人的には商品開発段階での裏話や苦労話などもお聞きしたかったように思いました。続いて伊藤先生のお話は、森田氏の「民間の支援機関」を活用するという部分を補完する、いわゆる「公的機関の活用」についての内容でした。意外と認知されていない商工会や中小企業基盤整備機構、各種制度資金や補助金等を全体的に俯瞰する、改めてとても参考になるものでした。最後は、片岡先生の「六次産業化」についてのお話でした。「産官学連携」との違いや「六次産業化の本来の意味」など、「言葉はよく聞く六次化」の実体が把握できたように思われます。地域資源を発掘し、中央部に集中するマーケティング情報を地方から発信する事の重要性が理解できました。

#### 倉島史明 会員

研修プログラムは私たち経営士の視野を広げ、また深く考えさせられるテーマであり、まさにブラッシュアップ の機会を得るものでした。「既存事業に3D技術を取り込んでの事業展開」では単に3Dプリンターの技術や自社開発品の紹介に留まらず、森田氏が地元仙台で様々な地域のサポート機関やネットワーク等を駆使して効果的に目標を達成していったプロセスが大変興味深いものでした。また伊藤経営士による「中小企業関係機関の活用について」では同氏が商工会に長く勤務されたご経験による内側からの視点や、通常ではなかなか聞く機会の無い裏技の活用方法等について興味深りました。そして片岡経営士による「六次産業化の基礎知識と具体的な取り組み事例について」では、地域の自然環境や伝統文化、そして人などをすべて含めた資源や価値を磨き上げ、単に農林水産物の応用だけでは無い六次化を目指すことの重要性を改めて認識させられました。いずれも物事を深く見据え、将来に展望を開く内容でありました。講師の皆様には改めて敬意を表するとともに感謝を申し上げます。



## ②【報告】平成28年度定時報告会

東北支部

開催日：平成28年6月4日（土）12:00～13:00

開催場所：ホテル法華クラブ仙台 4F葵の間

出席会員数：43名（うち委任状出席者数27名）

（支部長あいさつ）



<支部長あいさつ>

皆様 お忙しい中、定時報告会にご出席、ありがとうございます。皆様のご協力で東北支部は大変活動的に飛躍いたしました。感謝申し上げます。28年度の東北支部は27年度同様『信頼・仲間』を掲げていきます。人を信じることは簡単ではありません。人を信じることは、自分との戦いでもあります。私たち経営士はまず仲間を信頼することを、身をもって実践することで、クライアントにも伝わるのではないかでしょうか。知識が飽和し、正解などない時代において、経営士の役割は、経営者をマインド面から支えるコンサルタントであると思います。お互いに会員同士、互いの職務を尊重し、積極的に同業相助けて、専門分野のコンサルタントの集団（仲間）として切磋琢磨し、元気な企業を作り上げていきましょう。簡単ではございますが、これで支部長挨拶といたします。

報告会に引き続き行われた懇親会には、16名の参加があり、

和やかな雰囲気の中、会話もはずみました。

また、仙台市・仙台商工会議所より表彰状をいただきました。

東北経営士会平成28年度 定時報告会



（参加者記念撮影）

仙台商工会議所管内において、設立50周年の創業・創立記念会員事業所として表彰されました。

## （一社）日本経営士会東北支部 第4期経営士養成講座 開講

③【報告】7名の受講生を迎えて、6月11日（土）第4期経営士養成講座が開講しました。

開講日：平成28年6月11日（土）～

平成28年11月5日（土）11日間

会場：深田会計マネジメント研修室

仙台市青葉区一番町1-1-31

山口ビル2F



（受講生自己紹介）

今後、6か月間にたり11日間の講座が続きます。受講生の皆さん、体調を整え万全の態勢で講義に臨んでください。講師の皆さん、どうぞよろしくお願いします。



#### ④ [報 告] 平成27年度(一社)日本経営士会東北支部MPP

開催日	平成28年1月30日(土) 14:00~16:00	参加者 2チーム 計10名
開催場所	山形県肘折温泉『優心の宿観月』	
トライアルケース	ガソリンスタンド跡地利用地域コミュニティー場の創設 ~“どんどん焼き”屋の創業~	MPP終了後、チームごとに発表 懇親会

庄司孝一会员及び庄司芳昭会员のもと、実際に庄司孝一会员がコンサルティングを行っている、山形名物どんどん焼き店のケースメソッドについて、参加者全員ディスカッションを行いました。現在営業中の現実感溢れるケースで、リアリティ溢れる討議に各自様々な気づきを得た有意義な時間となりました。夜は、肘折温泉 優心の宿 観月 の素晴らしい温泉で寛ぎ、美味しい料理に舌鼓を打ちながら、懇親を深めました。(表伸也 記)



#### 参加者の声

##### 峯田寿子 会員



山形県肘折温泉「優心の宿 観月」という大変趣のある温泉で行われたMPP研修に参加させていただきました。MPP研修は、今回で3回目となります。今回のケース・テーマは、ガソリンスタンド跡地利用地域コミュニティー場の創設「どんどん焼き＊1屋の創業」現在の問題点を整理し改善策の提案でした。2チームで意見を出し合い議論を深めました。MPP研修に参加することにより、集中して意見を聴き、考え、自分も発表する事が出来意見のやり取りからきづかなかつた視点が触発され、多くの事を学んでいます。まさに自己鍛錬のまたとない機会と感じています。また、一泊研修ということで先生方と交流を深める事ができ大変嬉しくおもいます。今後も積極的に研修に参加し自己研鑽し仕事にも繋げていければと思います。



##### 高橋尚也 会員



二年ぶりのMPPに参加しました。雪深い肘折温泉を思い描いていたのですが今年は雪もなくスムーズに到着出来ました。向かう途中でお屋に食べた「あらきそば」のお店の併まいや鄙びた味に感動していたら、MPPの題材にも登場してさらに感動しました。フランス外務省が昨年末に発表した「ラ・リスト」という世界のレストランのランキングに319位で載っているとのこと、素晴らしいですね。そのあらきそばのある地元を題材にした研修は、時間の経つのも忘れるほど充実したものでした。もっと時間があればいいのですけれど、時間を守ることも研修の大切な学びですね。私たちはこのMPPを通してプロ意識をもっと高めなければならないですし、経営士という職業を広く周知していくかなければならないと切に感じます。日々研さんを重ね自分を高めなければ経営士として恥ずかしくないか様々なことを考えます。そんな孤軍奮闘の中、周りにいる経営士の仲間とつながれることがうれしいのだと、改めて感じた二日間でした。ありがとうございました。

### 支部活動報告(3)

## 2016年度第1回 茨城県会公開MPP 開催結果

### 北関東支部

茨城県会では公開MPPを年間4回開催、MPPへの魅力付加のため、県外や賛助会員、次に会員外を招き、複数チームでの開催を心掛けています。2016年度 第1回公開MPPについては、賛助会員もご参加、四国・東京・千葉・埼玉の各支部を含み、各地区計8名に、ご参加いただきありがとうございます。今回は、目標の2チームになり、少数会員の茨城県会、参加者に感謝です。今回はトライアルケースの内容検討等も試行、概要を以下に示します。

1. 開催日：2016年6月11日（土）13:30～17:00（事前説明等終了後検討会各15分間）
  2. 参加者：2チーム、計8名（県内4名・県外4名）
  3. 開催場所：ひたちなか市 ひたちなか商工会議所
  4. 使用ケースコード：トライアルケース（関西支部 河上会員のご了解を得て）
  5. 題名：新聞販売所のマーケティング戦略（販売・教育）
  6. 終了後検討会：質疑応答を含み計15分間
  7. ケース選定の理由：会員に経営者が参加、事業戦略や収益計画立案等に資するため。  
副次的選定の理由：筆者はMPP委員、審査依頼あったケースを作成者の了解を得て、トライアルとして遣り、内容検討等を実施。結果を作成者に戻すことを試行。
  8. チーム編成と会員外参加者について：
    - 1) 8名で2チーム編成、終了後検討会開催が大切、活発な意見交換できたと判断。  
当県会ではリーダー体験者を増加、MPPの会員外への普及に寄与したい。
    - 2) 今回は残念ながら、会員外と賛助会員の参加は0。次回に期待。
    - 3) 日刊工業新聞社 今回は造り繰り不可だったが、茨城支局等にも働き掛けている。
  9. 参加者の感想等：関西支部 河上会員へのフィードバックに相当。
    - 1) トライアルケースに磨きをかけるMPPも有効だろう。
    - 2) 「新聞販売所のマーケティング戦略（販売・教育）」は題名のとおり、MPP初心者への教育用ケースとして使用が適切と思う。
    - 3) 従来ケースに対して新鮮味があり、初心者用ケースとして磨きをかけて欲しい。  
文字配列や細部にわたる見直しもしてよりよくして欲しい。
    - 4) 地域密着型マーケティングのあるべき姿を考えるケースに仕上げて欲しい。
    - 5) 旧知のメンバーであるが、自己紹介は最近の状況報告で適切だった。
    - 6) 2チーム構成、5支部に及び、各支部の特徴が出てよかったです。
    - 7) MPPにも県民的な要素があり、各県会に呼び掛けて、多くの参加者に集まってもらう工夫が必要と思う。参加者の多様性確保ということである。
    - 8) 地域密着型の店舗につき、残す、残れるようにするのが、社会的使命と言えそうだ。  
人口減少社会になり、こういう広い視野、視点も必要だろう。
    - 9) リーダーの資質（基本的技量）の向上にも、参加者全員で取り組みたい。
- 本ケースは新規作成のトライアルケース、過去のケースを修正するより、新規ケースを作成して、その練り上げに努力する方が、外部活用等しやすいと筆者は考えている。  
微修正で済むケースは別であるが、  
单刀直入に言えば、既存ケースの修正より、新規作成に注力が得策と思える。  
MPPは企業経営に役立つの感触を得ており、敢えて従来同様を重複記載します。  
参加会員の皆様のご理解、ご協力により、密度の濃いMPPになり感謝します。  
よき伝統が今後も引き続くことを信じています。

(写真提供 千葉支部 林久雄会員)  
(茨城県会 MPP お世話係 塚本裕宥)



## 支部活動報告(4)

### 「経営改善塾」開催について

埼玉支部

埼玉支部の環境経営研究会（代表：高橋洋子）の主催で、埼玉支部共催の第1回経営改善塾が6月21日（火）と7月1日（金）の両日、川口市の会場（かわぐち市民パートナーステーション会議室）で開催された。この塾では、経済産業省・関東経済産業局と埼玉県・産業労働部の協力を頂き、講師の派遣やテキストの提供を受け、さらに受講生募集にも協力を頂いた。

この経営改善塾は、主に埼玉県の中小企業の経営者に対して最新の経営手法と最新の公的支援を紹介するために、企画され、講演テーマは次のように事例中心に編成しました。

第1日：6月21日（火）13:00～17:00

[基調講演] 環境視点による経営改善テクニック：国の省エネ関連補助制度（関東経済産業局）

[特別講演] 経営コンサル事例；『中小規模組織トップの経営改善意欲とユニークなシステムの創出』・直近の各種マネジメントシステム動向（日本経営士会）

[特別講演] ビジネスマネジメントモデルの優秀事例（日本経営士会埼玉支部）

[経営改善事例] コーポレートガバナンスと企業統治・遵法（日本経営士会環境経営研究会）

[経営改善事例] LCA分析とマテリアルフロー会計（日本経営士会環境経営研究会）

[パネル討論] テーマ；マテリアルフロー会計は、経営改善のツールとして役立つか？

第2日：7月1日（金）13:00～17:00

[基調講演] 埼玉県経営革新計画承認制度（埼玉県産業労働部）

[特別講演] 経営革新計画の事例（日本経営士会埼玉支部）

[経営改善事例] EMSを活用した経営改善（日本経営士会環境経営研究会）

[経営改善事例] 製造プロセス環境改善（日本経営士会環境経営研究会）

[経営改善事例] CSRとステークホルダーコミュニケーション（日本経営士会環境経営研究会）

[パネル討論] テーマ；地域貢献は企業に利益をもたらすか？

#### <概要>

基調講演は、最新の公的支援制度の紹介であり、好評でした。パネル討論は、経営者向けには、単なる質疑応答よりは良いと思い、実施しました。受講者数は、延べ81名でした。

#### <注目すべき講演内容>

・直近の各種マネジメントシステム動向（日本経営士会：上田隆一会員）

最新のJIS規格では、環境経営システムの第3世代として、環境経営が経営全体のプロセスモデル又はビジネスモデルに組み込まれることが決まったとの紹介があり、好評であった。

・経営革新計画の事例（日本経営士会：豊田賢治会員）

様々な難聴者向けの、テレビの音、銀行や公共機関の受付、セミナー会場など幅広い用途に有効なバリアフリーースピーカーの開発の事例。「経営革新計画承認制度」により銀行や販売先・取引先の信用力アップで資金調達・販売促進に有益だという発表が好評であった。

#### <次回開催について>

第2回の経営改善塾は、8月17日（水）、同30日（火）に開催予定です（内容は第1回とは別テーマ予定）。  
(文責：小西洋三)



(図1 講演風景)



(図2 パネル討論風景)

## 支部活動報告(5)

### 平成 28 年度四国支部総会開催

四国支部

四国支部では、7月8日（金）高松テルサにおいて午後7時より支部総会を行なった。会議室がいつもより大きめの部屋しか空きが無かったので仕方なく予約したため、空席が目立つ総会もどうかと思っていたところ、定刻近くになると皆さん集まってくれて16名の参加で開始しました。

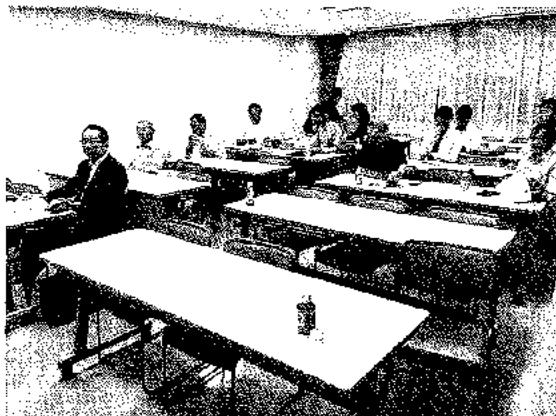
決算報告では、昨年度の支部交付金等で運営的にはきつかったが、支部会員の工夫と努力により何とか乗り切ることができた旨の報告を行なった。そのほか、前年度報告では11回の例会を行なった旨報告した。参加人数も平均10名近くになり、着実に定着しつつあります。内容のほうもさまざまな分野の方が増えたので持ち回りでこなしてもバリエーションに飛んだものができるようになりました。今年度は回数が減りそうですが、内容は充実したものにしていこうと思います。

続いて役員改選の年と言うことで、役員を選出した。今回は支部長も変更になり、四国支部役員は大幅な変更となった。新任の役員が一言ずつ抱負を述べ、満場一致で変更できた。

その後、予算報告が行なわれたが、支部交付金に若干の変更が出るそうなので暫定にはなる旨を報告した。その他全国研もあるので例年とは少し違ったものになってくるとの報告を行なった。そのほか、MPPを収益事業にすべく、また新入会員増加にも伴って今年度は是非MPPリーダー研修会を行ないたいとの報告があった。

総会は順調に進み、予算報告をもってすべての議案を終え、満場一致で終了することができた。

後半は、全国研の打ち合わせとなつたが、今まで骨格だけだった部分の肉付け作業で実際の人員配置等具体的な部分に入ってきた。ここに来て女性会員が増えたのと、直近に大きなイベントを経験した会員も入るので心強い限りです。四国支部会員一同は一人でも多くの会員の皆様に参加して頂くべく、また満足いただけるような大会にしていきたいと思います。至らないところもありますがどうか宜しくお願ひいたします。



## 支部活動報告(6)

# 活動報告

台湾支部

### ◆MPP 研究会報告

ケーステーマ：ケース 1. 社長の決断

                  ケース 2. コンビニエンスストアの出店計画

開催日：2016年5月29日 9時から16時

参加者：8名

場所：台中 茂綱株式会社

平成28年、台中支会では二回目のMPP研究会を開催しました。当日は8名の参加者で、二つのケースについて活発な討論と交流を行いました。

まずケース1について、事業経営の継続かに対して 採算性と立地選択の諸問題を巡って、資産管理から商圏の発展性まで討論しました。一方、ケース2について、個人の職業発展及び新規ビジネスの参入に関するリスク管理と資源調達等の核心問題を深く交流し合い、盛況な会となりました。



(台中支会 MPP 研究会の交流)

## 研究会案内

### 【北関東支部】

- \*茨城県会公開 MPP（新入会員歓迎会）  
9月10日（土）13:30～16:30  
ひたちなか商工会議所
- \*茨城県会月例会  
10月8日（土）13:30～16:30  
(月例研究会、経営士の提言等)  
ひたちなか商工会議所
- \*茨城県会月例会  
11月12日（土）13:30～16:30  
ひたちなか商工会議所
- \*北関東支部公開 MPP（予定）  
11月26日（土）～27日  
新潟県会主管

### 【TAMAマネジメント研究会】

- 8月27日（土）14:00～17:00
- 9月24日（土）14:00～17:00  
(会場は、毎回、三多摩労働会館)

### 【中部支部】

- \*公益事業研究会  
8月7日（日）9:30～11:30
- 10月23日（日）12:30～14:30  
名古屋市芸術創造センター

### \*ECO研究会

8月7日（日）12:30～14:30  
名古屋市芸術創造センター

### \*ICT研究会

8月21日（日）12:30～14:30  
10月23日（日）9:30～11:30  
名古屋市芸術創造センター

### \*MI研究会

9月4日（日）9:30～11:30  
名古屋市芸術創造センター

### \*MPP研究会

9月4日（日）12:30～15:30  
名古屋市芸術創造センター

### \*AC研究会

10月2日（日）12:30～14:30  
名古屋市芸術創造センター

### \*幹事会

8月21日（日）9:30～11:30  
10月2日（日）9:30～11:30

名古屋市芸術創造センター

### \*環境経営士フォロアップセミナー(名古屋)

9月18日（日）10:30～16:00

名古屋市芸術創造センター

### \*メッセナゴヤ 2016

10月26日（水）～29日（土）10:00～17:00

ポートメッセなごや

## 訃 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

\*川崎秀雄会員（千葉支部会員№.2035）  
平成28年6月20日没（享年88歳）

会務に多大のご尽力をされました。

\*劉 成基会員（台湾支部会員№.2298）  
平成28年7月7日没（享年84歳）

## 経営士の提言募集

日刊工業新聞に、「経営士の提言」のコラムを日本経営士会が担当しています。日本経営士会並びに「経営士」の活動をPRする絶好の機会になりますので、会員各位の積極的な寄稿をお待ちしています。執筆の要領は次の通りです。

### ★「経営士の提言」執筆要領

内 容： テーマ自由です。経営士としての立場から社会、産業界、行政等に対する提言・提案を執筆して下さい。

字 数 : 900文字（末尾に氏名と電話番号を記載）

紙面掲載 : 毎週木曜日

原稿作成 : ワードで原稿を作成の上  
メール等にてデータで本部宛てにお送りください  
[office@keieishikai.com](mailto:office@keieishikai.com)

★掲載内容は、日刊工業新聞社の編集部が決定します。

## MPP普及活動リーダー研修の案内

MPPは、経営士が産業社会でその役割を確立していくために必要な研修制度として発足したもので、現在では広く企業・団体の方々に普及し活用いただいております。

MPPを普及するための活動リーダーの研修会を開催致します。 MPP委員会

### 1. 参加資格

- ① MPP登録リーダー
- ② 通算取得単位：30以上かつリーダ一体験5回以上

### 2. 研修開催の概要

- ① 開催日時：2016年8月20日（土） 10:00～17:00
- ② 場 所：(一社)日本経営士会会議室  
〒102-084 東京都千代田区二番町12-12 B. D. A. 二番町ビル5F
- ③ 参加費：10,000円 ④ 定 員：10名
- ⑤ 研修方式：活動リーダー研修カリキュラムによる研修
- ⑥ 参加申込：氏名、会員番号を記入のうえ、下記に申し込み下さい。  
TEL (03)3239-0691 FAX (03)3239-1831 メール：[tanaka@keieishikai.com](mailto:tanaka@keieishikai.com)

2016年 盛夏

暑中お見舞い申し上げます

心身共に健康であることを祈念致します

平成28年8月吉日

平山システム研究所  
経営士 平山道雄（生産部会）

〒181-0001 東京都三鷹市井の頭2-8-6

Tel. 0422-43-1034

Fax. 0422-43-1052

暑中お見舞い申し上げます  
BOYS BE AMBITIOUS,S SPIITS  
(一社) 日本経営士会北海道支部  
会員一同

暑中お見舞い申し上げます  
一枚のはがきで売り上げを上げる  
はがきマーケッター  
経営士・小林みのる  
090-4177-0001  
(一社) 日本経営士会東北支部

暑中お見舞い申し上げます  
(一社) 日本経営士会北関東支部  
会員一同  
北関東支部長 平岡 武

暑中お見舞い申し上げます  
経営士 小西洋三 (さいたま市在住)  
ビジネスモデル・アドバイザー  
技術士 (情報工学部門)

署中お見舞い申し上げます

株式会社 東洋コンサルタント・グループ

代表取締役会長 渡 部 喜 政

事務所 秋田市中通3丁目4番50号 秋田県農業共済会館4階  
TEL 018-833-2801 FAX 018-833-2802

署中お見舞い申し上げます

一般社団法人 日本経営士会

中国支部長 藤本 賢司  
中国支部一同

事務所 山口県周南市泉原町4番3号  
藤本経営管理オフィス  
TEL 0834-21-5610

経営戦略・組織戦略・診断・指導・市場調査・監査・顧問

# 浅見経営事務所

公益社団法人全日本能率連盟マスターマネジメントコンサルタント (J-MCMC) ・  
国際公認経営コンサルティング協議会認定 CMC

代表 浅見 正義

〒541-0041 大阪市中央区北浜2 206 (6201) 3700

一般社団法人日本経営士会近畿支部監事

日本経友協会会长 (JMA)

一般社団法人大阪能率協会副会長

日本・パラオ国際友好協会  
J P I F A

名譽会長 安西愛子 (元・参議院議員)

最高顧問 クニオ・ナカムラ第5代パラオ共和国大統領

特別顧問 フランシス・マリウル・マツクロウ特命全権大使 (第5代)

副会長 ダイジロウ・ナカムラ (元) 特命全権大使・上院議員

暑中御見舞申し上げます

経営・環境・品質・情報・B C P から C S R / C S V 経営まで

ワンストップコンサルティングファーム

株式会社 KAZ コンサルティング

代表取締役社長 鈴木 和男

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-15-7-503

Tel : 03-3341-6481 Fax : 03-6775-7976

E-mail : [info@kazconsul.jp](mailto:info@kazconsul.jp) <http://www.kazconsul.jp/>

・一般社団法人 日本経営士会 東京支部長 経営支援アドバイザー

・中国遼寧省 遼寧科技大学 客員教授

・帝京大学 非常勤講師

・経済産業省 マテリアルフローコスト会計 (MFCA) アドバイザー

・文部科学省 成長分野等の中核的専門人材育成事業 実施委員

・一般社団法人 エコステージ協会 理事 上級評価員

・NPO 法人 日本環境管理監査人協会 理事

・「環境社会検定 (eco 検定)」エコピープル支援協議会公認講師 他

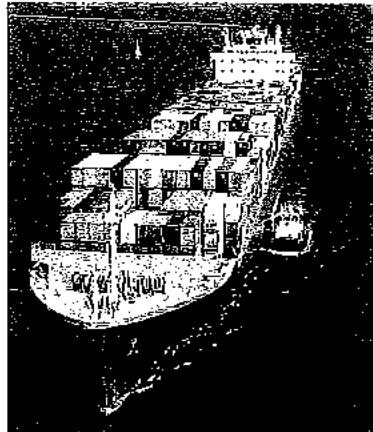
# 私たちちは物流のコンサルティング会社です

## 国際物流の事なら『アルフォート』にお任せください

人の「温かさ」を感じてもらい、そこから「安心感」を得ることができれば“生涯に渡るパートナー”になりえるのです。偏見にとらわれず、世界を見る基盤となりうるように、日夜、お客様のお話に耳を傾け、世を見つめ、信頼を高めてまいります。アルフォートはわかりやすく言えば「貨物版旅行会社」です。仕出地から目的地まで複数の業者と契約を結び、海上輸送をお引き受けします。また、当社は船舶、倉庫等ハードを有しません。世界中のパートナーと取引を行い、お客様のニーズに合わせたレート設定が、リーズナブルにできます。社会貢献する企業として、私たちちは皆さまと共に、物流を通じて世界を一つの輪でつなぎます。

### 事業内容

1. 貨物利用運送業に基づく第一種貨物利用運送業
2. 国際間複合物流システムの開発、運営管理及び保守サービス業
3. 自動車、鉄道、船舶及び航空機による国際間複合輸送業務並びに輸出入貨物の輸送、取扱いに関する代理業



<http://www.allfort.com>

アルフォート株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座2-3-5 三木ビル本館3F

Tel : 03-3561-1631 Fax : 03-3561-1632

E-mail : info@allfort.com

代表取締役会長 矢島 澄子（経営士No. 3114）

代表取締役社長 近藤 利之

## 私たちの変わらぬ願い

私達は、一つひとつの出会いやふれあいを大切に、良心に則り、感謝の気持ちを忘れず、人と人・企業と企業の信頼関係を最重視し、地元中小企業の更なる発展に寄与していきたいと願っています。

## 事業内容

- ◆ISO認証取得支援
- ◆プライバシーマーク認定取得支援
- ◆経営診断
- ◆経営指導
- ◆事業承継
- ◆後継者育成
- ◆中・長期経営計画
- ◆経営理念・経営方針書策定
- ◆人材育成・教育
- ◆セミナー・講演



代表取締役 塚元啓幸

誠実と信頼で、中小企業の繁栄をお手伝いする  
経営の総合コンサルタント



〒761-0303 高松市六条町 204-7 塚元ビル 1  
TEL:087-840-7370 FAX:087-840-7372  
携帯:090-1575-7243  
mail :sba-1@crest.ocn.ne.jp

## 人を大切に思う心を持ち続けたい

当社は、心理学や行動科学などの専門知識や技術を活かし、従業員と企業に関わる様々な問題の解決に向けた包括的支援を提供する専門コンサルティング会社です。「人と組織のいい関係づくり」を目指し、最終的には、従業員満足と企業繁栄に寄与することをお約束します。

## 事業内容

- ◆心理カウンセリング
- ◆職場のメンタルヘルス支援
- ◆ストレスチェック制度支援
- ◆キャリア・コンサルティング
- ◆ハラスマント対策支援
- ◆ビジネス・コーチング指導・支援
- ◆コミュニケーション指導・支援
- ◆セミナー、講演
- ◆人材育成・教育
- ◆組織マネジメントに関する支援



代表取締役 塚元千恵美

人には愛を、組織には活力を、人と組織のいい関係、  
快適職場づくりのサポーター



〒761-0303 高松市六条町 204-7 塚元ビル 1-2F  
TEL:087-873-2588 FAX:087-840-7372  
携帯:090-1570-1164  
mail :ssk-chie.t@ace.ocn.ne.jp